

2019年11月12日

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、腎臓内科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、本学倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 糸球体基底膜 (GBM) 異常における IV 型コラーゲン染色による腎予後の検討

[研究対象者]

1989年1月～2019年9月までの間に、当施設において腎生検で遺伝性腎炎(Alport 症候群、菲薄基底膜病、遺伝性腎炎疑い)と診断された方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：性別、年齢、生年月日、身長、体重、血圧、主な既往歴(糖尿病、高血圧、悪性腫瘍など過去にかかった病気)、家族歴、検査結果(腎生検結果、血液検査、尿検査)、治療、その後の検査経過、透析導入や死亡などの転帰、妊娠・出産、ドナーとなった場合の腎臓摘出後の検査、臨床経過等

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

腎臓の組織の検査の結果、遺伝性腎炎(Alport症候群、菲薄基底膜病、その他両群の診断に満たないが遺伝性腎炎を疑い)と診断された患者さんの中で、IV型コラーゲン染色の程度により腎臓の機能の低下や尿蛋白の違いについて解明することを目的としています。

[利用期間] 倫理委員会承認後より2021年3月までの間(予定)

---

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には**匿名化処理を行い**、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたくて取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 腎臓内科 教授・講座主任 新田孝作

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 腎臓内科 佐藤尚代

電話：03-3353-8111 (内線33511) (応対可能時間：平日9時～16時)

ファックス：03-3353-8111 Eメール：sato.masayo@twmu.ac.jp